

平成 19 年 3 月 5 日

1 号機の定期検査状況について

当所 1 号機は定期検査中ですが、平成 19 年 3 月 1 日、タービン建屋地下 1 階に設置された給水加熱器ドレンポンプ^{*1} (B) のポンプバレル (埋設容器) を取り替えるため吊り上げたところ、当該ポンプバレルを収めたコンクリートピット内に溜まり水があることを確認いたしました。また、同日に採取した溜まり水の水質分析を行ったところ、本日 (3 月 5 日) 、自然界に含まれる濃度より高い^{*2} トリチウム^{*3} が検出されました。

今後、詳細な調査を実施することといたします。

なお、同号機はタービン建屋周囲に敷設されている排水設備^{*4} の水を分析しており、トリチウム等の放射性物質は検出されていないことから、外部への放射能の影響はないものと考えております。

以 上

* 1 給水加熱器ドレンポンプ

給水加熱器で発生する凝縮水を復水系統に回収するためのポンプであり、A・B と 2 台設置されている。

* 2 自然界に含まれる濃度よりも高い

- ・自然界の海水のトリチウム濃度は約 5×10^{-4} ベクレル / cm^3
- ・今回検出された水のトリチウム濃度は約 1.7 ベクレル / cm^3

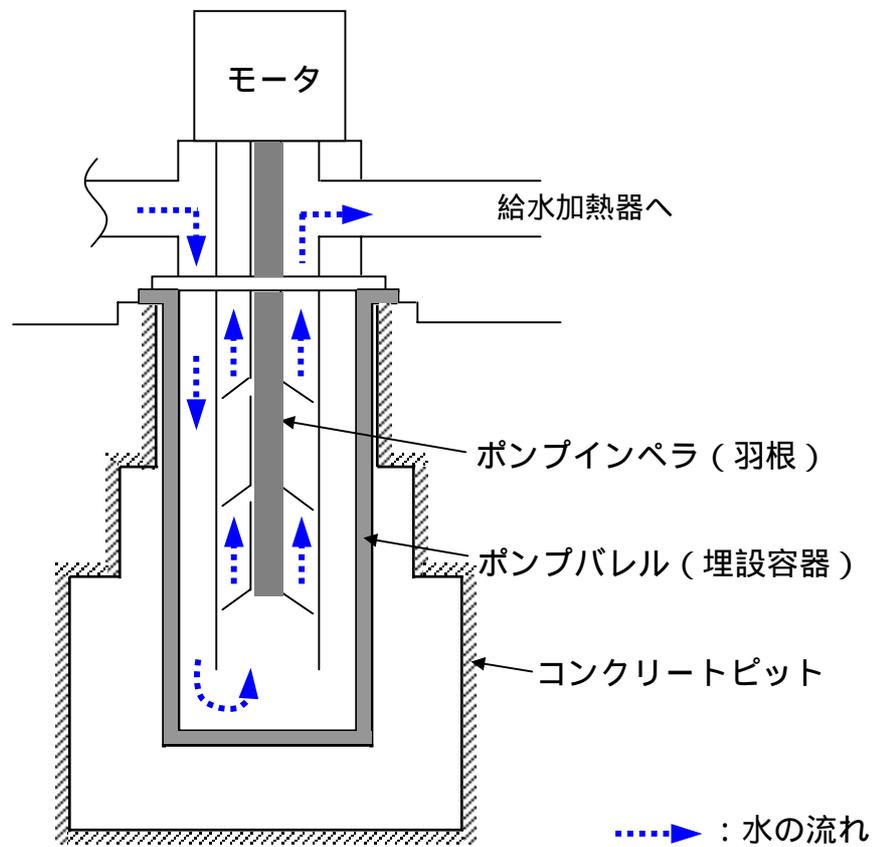
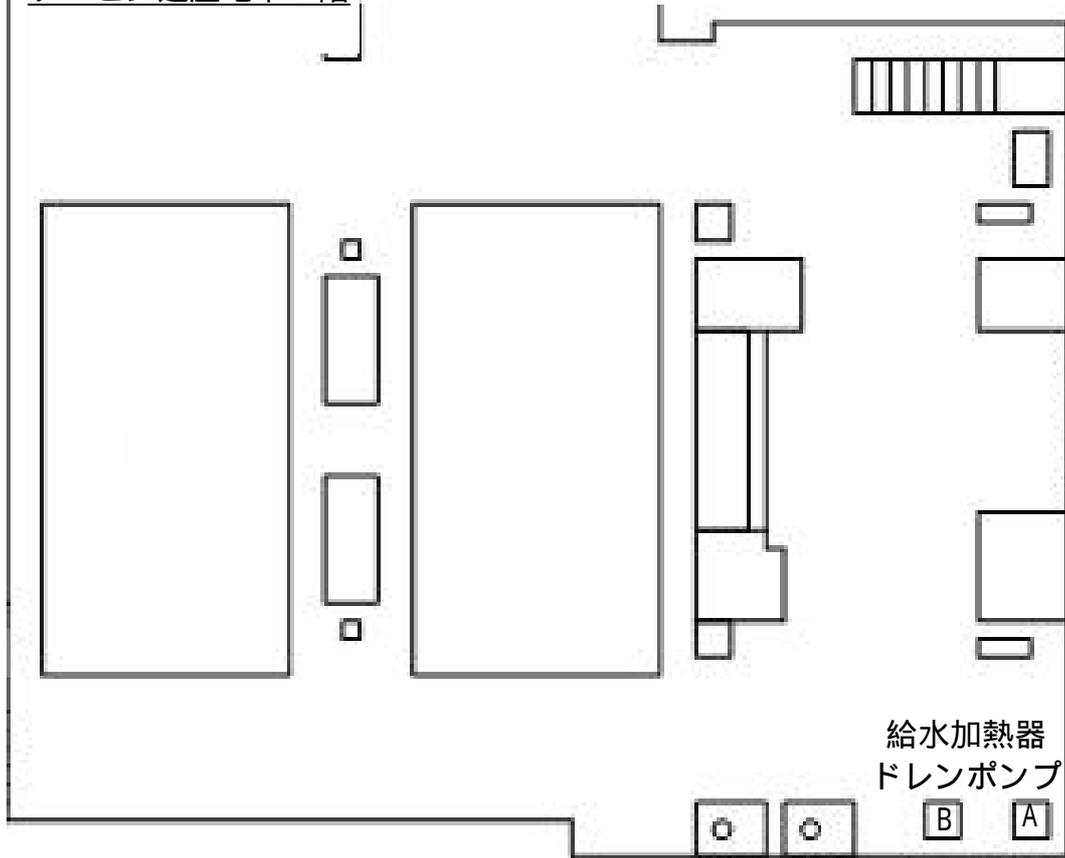
* 3 トリチウム

水素の仲間地球上のどこにでもある放射性物質で、原子炉の中でも発生している。

* 4 排水設備

各建屋に過剰な水圧がかからないよう、湧き水をくみ上げるための設備で、タービン建屋や原子炉建屋などの周囲に設置している。

タービン建屋地下1階



1号機給水加熱器ドレンポンプ概略図